

2005年9月吉日

関係者各位殿

「患者の自己学習環境の整備と患者向け医療書の選定
に関する研究班」主任研究者 和田ちひろ

貴施設における患者の自己学習環境のホームページへの掲載及び、 アンケートへのご協力について（依頼）

拝啓 残暑厳しき折から、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、このたびは、大同生命厚生事業団平成16年度地域保健福祉研究助成より研究助成を受け、「患者の自己学習環境の整備と患者向け医療書の選定に関する研究」を行わせて頂くことになりました。

昨今、国民の医療情報への関心は極めて高くなっており、それに応える形で現在約70箇所の医療機関において市民や患者さんが自身の疾患等について積極的に自己学習できる環境を整えておられます。

こうした中、本研究班では、次のことを行わせて頂きたく、このたび貴院にご協力をお願い申し上げる次第でございます。

- ? 現在、全国の患者の自己学習環境を整備している先駆的医療機関の取り組みが一望できるホームページの作成を計画しております。こうした施設の存在をより多くの方に知っていただき、一般市民のヘルスリテラシーの向上に役立つホームページづくりを目指しております。
本アンケートの1ページにございます「貴施設の基本データ」にご記入頂き、掲載の許諾を頂ければと希望しております。
- ? 貴施設の紹介をさせていただく上で、写真を2~3点お借りしたいと思います。お写真を返信用封筒に同封いただくか、デジタルカメラで撮影したものをメールにてpicture@e7station.comまで送付くだされば幸いです。
- ? 患者図書室が抱えている課題等について、本アンケートの2~5ページにご回答ください。アンケート結果をもとに、課題に対する具体的解決策を模索します。なお、2~5ページでご回答いただいたものに関しては統計的に処理し、回答した病院を特定する形で外部に公開することはありません。

つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣旨に賛同の上、アンケートにご回答頂けます様どうぞよろしくお願い申し上げます。集計の都合上、大変お手数をおかけいたしますが9月20日（火）頃までにご回答の上、同封してあります返信用封筒にて投函下されば幸いです。末筆ながら貴施設のますますのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

問合せ先
いいなステーション（担当：和田ちひろ）
e-mail：chihiro@e7station.com
Tel：070-6656-5556 Fax：04-2993-5589

患者の自己学習環境の整備と患者向け医療書の選定に関するアンケート

質問 1 本調査の対象とさせて頂けるかを改めて確認したく存じます。
まず、次の質問にお答えください。

貴院には、主として健康・医療情報を市民・患者に提供する部屋もしくは仮設のコーナーを設けていますか。
(は1つ)

職員図書室を一般に開放している図書室は含みません。
主に一般書(小説や絵本、漫画など)の扱いが9割を越える図書室は含みません。

1. ない 今回は調査対象外となりますので、お手数ですが、このまま調査票を返信ください。
なお報告書を希望される方は、質問2の「1.希望する」に をお付けください。
ご協力ありがとうございました。
2. ある 質問2にお答えの上、次のページにお進みください。

質問 2

この調査に関する報告書の送付を希望しますか。(いずれかに をつけてください)

1. 希望する
2. 希望しない

この調査票をご記入いただきましたら、返信用封筒に入れ密封のうえ、9月20日(火)頃までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

患者の自己学習環境の整備と患者向け医療書の選定に関する研究班

主任研究者	和田 ちひろ	いいなステーション代表・東京大学医療政策人材養成講座特任教員
分担研究者	池上 英隆	いいなステーション研究員
	山室 眞知子	京都南病院司書
	武藤 正樹	国立病院機構長野病院副院長
	山野辺 裕二	成育医療センター医療情報室長
	片山 環	がんを語る有志の会スタッフ/悪性リンパ腫患者・家族連絡会「グループ・ネクサス」・スタッフ
	多和田奈津子	医事エッセイスト
	瀬戸 加奈子	東京大学先端科学技術研究センター協力研究員
	中馬 良子	NPO 法人医療機関内図書サービス ito
	平原 憲道	いいなステーション研究員

問合せ先

いいなステーション(担当:和田)
〒359-0037 埼玉県所沢市くすのき台3-13-1-102
e-mail: chihiro@e7station.com Tel: 070-6656-5556 Fax: 04-2993-5589

以下アンケート中では患者への情報提供サービスを行っている場所を「患者図書室」と称します。

PART 1 ホームページに掲載させていただきたい基本データ

以下の項目は全国の患者の自己学習環境を整備している先駆的事例としてホームページに掲載させていただきたい項目です。太枠で囲んでいる部分をご記入の上、掲載不可の項目には、×とご記入ください。

掲載を希望しない項目は 欄に×とご記入ください。

貴団体について

1. 病院名	
2. 患者図書室の名称	
3. 住所	〒
4. 電話番号	(内線:)
5. ファックス番号	
6. ホームページURL	http://
7. メールアドレス	

開館時間(利用可能な時間帯)について

曜日	開館日に	開館の時間帯	曜日	開館日に	開館の時間帯
月曜日		: ~ :	金曜日		: ~ :
火曜日		: ~ :	土曜日		: ~ :
水曜日		: ~ :	日曜日		: ~ :
木曜日		: ~ :			

取り揃えている資料及び設備について

資料	いずれかに	冊数	貸出
一般向け医学書	有・無	冊	不可・可
闘病記	有・無	冊	不可・可
一般書(小説・絵本・漫画など)	有・無	冊	不可・可
ビデオ・DVD	有・無	本	不可・可
ビデオ・DVDの視聴覚設備	有・無	台	
パンフレット 1	有・無	種類	1 製薬会社・学会などの作成。
患者会資料 2	有・無	種類	2 入会案内や会報、冊子など
パソコン 3	有・無	台	3 インターネット接続のもの

上記以外に新聞のスクラップや体験談集など特色のある資料・設備がございましたらお書き下さい。

患者図書室に常駐しているスタッフについて

(運営委員会等に属している人は含みません。ボランティアは登録している人数をお書きください。)

職種	人数	職種	いれば	人数
司書	人	医師		人
看護師	人	MSW		人
薬剤師	人	ボランティア		人
その他				

患者向けの医療相談について

相談の有無	1. 相談に応じている	2. 相談には応じていない
「1. 相談に応じている」の場合のみ回答して下さい		
事前の連絡	1. 必要	2. 不必要

PART 2 - A 貴施設の設立経緯や利用状況について

ここからお答え頂く項目は、回答した病院を特定する形で外部に公開することは一切ありませんので、現在、考えていらっしゃることを率直にお答えください。

Q1. 貴院の患者図書室はいつできましたか。

(西暦)	年	月
------	---	---

Q2. どのような場所にありますか。(は1つ)

1. 外来棟 (具体的に:)
2. 入院棟 (具体的に:)
3. 管理棟 (具体的に:)
4. その他 ()

院内の案内図などがございましたら、返信時に同封下さい。

Q3. 貴院の患者図書室の開設の発案者及び、経緯について詳しくお書きください。

<例：外来分離に伴い、患者サービス委員会の提案で、以前、診察室として使用していたところを患者図書室にした。 >

Q4. 雑誌の定期購読や新しく資料を揃えるための年間予算はありますか。(は1つ)

1. ある Q4-1へ	2. ない Q5へ
-------------	-----------

Q4-1. 【Q4で「1. ある」とお答えの方へ】その額はいくらですか。

円

Q4-2. 【Q4で「1. ある」とお答えの方へ】新しい資料の購入頻度を教えてください。

1. 半年に1~2回程度	
2. 1年に1~2回程度	
3. 不定期 ()
4. その他 ()

Q5. 一日の来室者数について平均的な人数をお答えください。尚、貸出しを行っていない場合は、貸出し記入欄にxをつけて下さい。

来室者	人	貸出し人数	人
-----	---	-------	---

Q6. この利用者数は、設立当時の予想と比較してどのような感想をもたれていますか。

1. ほぼ予想通り	Q7へ
2. 予想よりはるかに多い	Q6-1へ
3. 予想よりやや多い	Q6-1へ
4. 予想よりやや少ない	Q6-1へ
5. 予想よりはるかに少ない	Q6-1へ

Q6 - 1 .【Q6で「2～5」とお答えの方へ】その理由として思い当たることをご自由にお書き下さい。

Q7 . 貴施設に該当する資料がない場合、どのように対応しますか。(いくつでも)

1 . 資料がない旨を告げ、他施設は案内しない
2 . 近隣の医療機関の患者図書室があることを告げる
3 . 近隣の公共図書館や書店への問い合わせを勧める
4 . 自院もしくは近隣の病院図書室(職員向け)を紹介する
5 . 大学医学部に附属している医学図書館への問い合わせを勧める
6 . その他()

PART 2 - B 一般向け医学書の選定について

Q8 . 貴施設は、患者図書室に取り揃えるべき一般向け医学書の選定基準を設けていますか。(は1つ)

1 . 設けている Q8 - 1へ	2 . 設けていない Q9へ
------------------------	---------------------

Q8 - 1 .【Q8で「1 . 設けている」とお答えの方へ】具体的な選定基準についてご記入ください。

<例：刊行、再版から5年以内のもの、複数の治療法が紹介されているものなど>

選定に関して院内での取り決め等、印字されているものがございましたら返信時に同封ください。

Q9 . 一般向け医学書を選定する際、「当施設に置くには相応しくない」と判断される理由は次のうちどれですか。(いくつでも)

1 . すべて受け入れている
2 . 医学的な根拠が希薄だから
3 . 商品やサービスの宣伝的色彩が強いから
4 . 出版社が医学を専門に扱っているところではないから
5 . 内容が専門的過ぎるから
6 . 出版された年月が古いから
7 . その他()

Q10. 近年、医学専門出版社以外からも多数の一般向け医学書が刊行されています。それらは消費者の目線で分かり易く書かれているという反面、医学的正確性に欠けるものも少なからずあり、選定に戸惑うという声があります。次のうちどのような書籍であれば取り揃えてみようと思いますか。(はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 医学的知識を持った複数の医療者が一定の評価を行ったもの |
| 2. その疾患の闘病経験者が一定の評価を行ったもの |
| 3. 医学専門司書が一定の評価を行ったもの |
| 4. 新聞や雑誌に書評が掲載されたもの |
| 5. その他() |

Q11. 患者会資料(入会案内や会報、冊子など)を置いていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ある Q12 | 2. ない Q11-1へ |
|-----------|--------------|

Q11-1.【Q11で「2. ない」とお答えの方へ】置かない理由についてお聞かせください。(はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. それぞれの患者会がどのような資料を出しているかわからないから |
| 2. 患者会が出している資料は病院に置くべきではないと考えるから |
| 3. 素人同士で集まっている会が発信している情報は医学的に間違っている可能性が否めないから |
| 4. 特定の治療法や代替療法、健康食品等に関する情報が提供されていることがあるから |
| 5. 特定の政党や宗教などの色彩が濃いから |
| 6. その他() |

Q12. 患者図書室に置かれている資料の中には、必ずしも正確ではない情報が掲載されている場合もあるかと思いますが、情報に対する責任についてどのようにお考えですか。(は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. その情報が掲載されている資料を置いている施設により責任がある |
| 2. その情報を受け取る利用者側により責任がある |
| 3. 両方に等分の責任がある |
| 4. その他() |

Q13. 最後に、貴施設において今後取り組むべき課題や、本調査に対するご意見などがありましたらご自由にお書き下さい。

.....
.....
.....
.....
.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒にて返信下さいます様お願い申し上げます。

なお返信の際、本アンケートに加え以下のものがお手元にごございましたら同封いただければ幸いです。

1.	アンケート本紙
2.	患者図書室の写真(数枚) デジタルカメラで撮影したものを送付くださる場合には、 picture@e7station.com 宛に添付ください。
3.	患者図書室の位置が分かる院内での案内図
4.	患者向け医療書の選定に関する資料
5.	その他、患者図書室の規約など

